2018 年度・事業報告

一般社団法人横浜みなとみらい21

2018年度　事業報告

2018年4月1日から2019年3月31日まで

１．事業構成

次の事業を柱としてエリアマネジメント事業を推進しています。

2018年度は、事業計画に基づき、「防災対策」、「環境対策」、「まちの魅力発信」の分野を重視し取組を進めています。

（１）エリアマネジメント推進事業

ア　街づくり調整事業

イ　環境対策事業

ウ　文化・プロモーション事業

エ　その他事業（会員交流事業）

（２）横浜都心電波対策事業

（３）広告・イベントスペース等運用事業

２．実施状況（総括）

（１）エリアマネジメント推進事業

ア　街づくり調整事業

〇安全・安心な街づくり

地震対策の推進では、「防災エリマネ推進委員会」を中心とした検討を進めました。帰宅困難者対策等では、横浜市と連携して「就業者の一斉帰宅抑制方針」の周知・働きかけを行うとともに、地区内各施設の地震対策の進捗状況を確認するアンケート調査を実施したほか、地区内就業者の防災意識啓発に向け、防災訓練等に向けた勉強会、専門家を招いた防災講演会（54名参加）、「第24回みなとみらい21地区合同防災訓練」（164名参加）を実施しました。

〇来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

街づくりに関する調査として、来街者調査や進出企業調査を実施し（10～11月）、調査結果のとりまとめを実施しました。

交通対策では、街区開発の急速な進展や大規模集客施設の複数の立地対策として、歩行者交通処理計画（誘導計画、整備計画等）の検討を進めました。9月に実施した歩行者交通量調査（基礎調査；歩行者動線、混雑状況等）の結果を踏まえて、ハード整備やソフト対応について関係者との協議等を、横浜市と連携して実施しました。

また、キング軸基部（55、56、57、58街区）のＪＲ貨物線上部利用について、関係者と協議・調整を行いながら、周辺地区の環境改善及び歩行者ネットワークの機能向上に向けた検討を実施しました。

〇街づくりの誘導・調整、情報発信

「街づくり基本協定運営委員会」では、中央地区の各所で進む街区開発についての協議を進めました。**【街づくり行為を承認した街区】上半期：20, 23, 37, 43, 47, 56-1, 56-2, 61**

下半期：20, 38, 43, 44, 47, 54, 55-1, 56-1, 58, 61（行為の内容はP7～8）

その他、「エリアマネジメント活動助成事業」の 2018 年度助成の実績報告・確定や、「みなとみらい 21 インフォメーション」の制作、全国エリアマネジメントネットワークへの参画などの取組を行いました。

〇みなとみらい 21 地区の土地の公募業務

横浜市から、「62 街区」、「53 街区」の開発事業者公募業務を受託しました。62 街区及び、53 街区についてそれぞれ２件の応募がありましたので、提案内容の調査・分析を実施し、横浜市へ報告しました。

イ　環境対策事業

〇スマートなまちづくりの実現に向けた取組

みなとみらい 2050 プロジェクトの推進では、情報発信拠点（フューチャーセンター）について、当地区における当該拠点及びオープンイノベーションのあり方・機能等について、ワークショップを通じて関係者と連携して検討・調整を行いました。(6 月～3 月)

水環境向上及び生物多様性に関する取組では、拡張した汽車道護岸「実験場」における取組を実施しました。具体的には、アマモ場の造成やノリの養殖実験、小型カキ殻礁の設置、Web カメラの試験設置などを行いました。

「緑・花」推進に関する取組みでは、「ガーデンネックレス横浜」と連携したイベント「みなとみらい GARDEN LIFE2018」(花の品評会・展示等) 等を実施しました。

〇環境意識の啓発に向けた取組

身近なエコ活動の実施・検討として、「アースアワー2019」では、地区内関係者に周知・参加を呼びかけるとともに、連携イベントとして「竹あかり」フォトスポットと環境パネル展を実施しました。(3 月)

その他、毎月実施する定期清掃活動などの取組を行いました。

ウ　文化・プロモーション事業

〇まちの魅力発信

インバウンド (訪日外国人) 対応では、訪日外国人向けアンケートを実施するとともに、地区としてのホスピタリティ向上施策として「みなとみらい２１ツーリストインフォメーションセンター (TIC)」の新設に関する検討を進めました。

情報発信では、「公式ウェブサイト」の効果的な運営を軸に、「英語版サイト」、「みなとみらいリゾートサイト」、広報誌「mirea」による広報を行いました。

クリスマスシーズンに向けては、「mirea 別冊 ヨコハマ夜景 2018」を作成し、企画編集に参画しました。

その他、ＳＰ推進委員会での活動を通じて、より効果的な地区プロモーションのための方策について検討し、地区内外クライアント向けに「みなとみらいプレゼンテーション 2019」を開催しました (2 月)。

〇賑わいの創出

公共空間活用委員会での活動を通じて、オープンカフェ（ソトカフェ）などの公共空間の利活用を行うとともに、主催イベントとして「みなとみらい STREET MUSIC」やマルシェ型催事「みなとみらい縁市（えにしいち）」を実施しました。

地区イベントとしては、春の「さくらフェスタ」（4 月,3 月）や「ピカチュウ大量発生チュウ」（8 月）、「みなとみらいスマートフェスティバル」（9 月）に続いて、タイアップイベント「プリキュア 15 周年記念パレード」（10 月）への参加を皮切りに、冬季イベント「TOWERS Milight」（12 月）の実施、公益信託を活用したイルミネーションイベント「ヨコハマミライト」（11 月～2 月）への参加など、地区の賑わい創出に取り組みました。

その他、文化・プロモーション委員会、イベント連絡会などの機会を活用した、会員相互の情報共有、意見交換、交流の促進に取り組みました。

エ　その他事業（会員交流事業）

「みなとみらいかもめ SCHOOL」では、春学期（4 月～6 月／受講者数 225 人）と秋学期（9 月～11 月／受講者数 204 人）において、新しい講座を開講するなどの事業改善にも取り組んだことで、リピーターの受講や新たに取り上げた地区内及び周辺施設との交流につながっています。

１月には、今回で７回目となる「みなとみらい２１賀詞交換会」（1 月 16 日／参加者数：236 人）を開催し、今年も多くの会員に参加していただき、地区内の交流につなげました。

（２）横浜都心電波対策事業

新規開発に伴う電波障害シミュレーション（58 街区）やテレビ電波障害受信状況調査（54 街区、43 街区）を実施するとともに、54 街区開発にかかるテレビ電波障害対策工事を実施しました。

その他、横浜都心電波対策協議会に負担金を拠出するとともに、同協議会の運営を通じて、電波障害対策負担金ルールの見直しを実施（3 年に 1 度）するとともに、新規開発にかかる負担金などについて協議しました。

（３）広告・イベントスペース等運用事業

クイーンズサークル及びクイーンモール等について、年間を通じて貸付けを行うとともに、利用率の向上や賃料の見直しなどの、収益向上に向けた検討・協議を行いました。クイーンズサークルの更なる利用促進のための新たな仕組み（年間使用可能日数の増加）については、横浜市と協議の上、公共的な内容の催事等については使用日数から除外することで、実質的に年間使用可能日数を増加させる仕組みを実施しました。

３．会員・役員・職員の状況（2019 年３月 31 日現在）

〇会員　正会員：86 団体　準会員：４団体　賛助会員：48 団体（計 138 団体）
〇役員　理事：11 人　監事：1 人　**〇職員**　20 人

４．基金の状況

2 億 8,500 万円

５．社員総会・理事会

〇6 月 8 日（金）平成 30 年度第 1 回理事会

第 1 号議案　平成 29 年度事業報告及び決算の件
第 2 号議案　平成 29 年度公益目的支出計画実施報告書の件
第 3 号議案　社員総会招集の件
第 4 号議案　社員総会の付議事項の件
第 5 号議案　正会員の入会の件
報告事項 1　会員の入退会の件

〇6 月 27 日（水）第 10 回定時社員総会

第 1 号議案　平成 29 年度決算計算書類の件
第 2 号議案　理事選任の件
第 3 号議案　監事選任の件
報告事項 1　平成 29 年度事業報告の件
報告事項 2　平成 29 年度公益目的支出計画実施報告書の件
報告事項 3　平成 30 年度事業計画及び収支予算の件

〇6 月 27 日（水）平成 30 年度第 2 回理事会

第 1 号議案　代表理事選任の件
第 2 号議案　執行理事及び専務理事選定の件
報告事項 1　賛助会員の入会の件

〇11 月 26 日（月）平成 30 年度第 3 回理事会

第 1 号議案　正会員の入会の件
報告事項 1　賛助会員の入会の件
報告事項 2　平成 30 年度上半期事業及び予算の執行状況の件

〇1 月 25 日（金）平成 30 年度第 4 回理事会（書面表決）

第 1 号議案　正会員の入会の件
報告事項 1　正会員の退会の件

〇3 月 26 日（火）平成 30 年度第 5 回理事会

第 1 号議案　2019 年度事業計画及び収支予算の件
第 2 号議案　定款第 35 条に関する取引の承認の件
報告事項 1　平成 30（2018）年度事業執行状況の件
報告事項 2　特定寄附及び公益信託の経過報告の件

街づくり調整事業

時代の変化に適応した街づくりを進めていくため、みなとみらい２１地区全体の街づくりの方向性を議論し、共有化を図り、対応策を検討し実施します。また、取組内容の情報発信にも取り組みます。

○ 安全・安心な街づくり

◇みなとみらい２１地区における地震対策の推進

【 企画調整部・総務部 】

【実施報告】

１．みなとみらい２１地区防災エリマネ推進委員会

災害時情報受伝達体制の強化、帰宅困難者対策と一斉帰宅抑制の推進、防災意識の啓発、などを中心に検討を進め、更にアンケート結果や合同防災訓練実施状況を総括した。

・第１回委員会（7 月 5 日）　・第２回委員会（9 月 11 日）
・第３回委員会（11 月 14 日）　・第４回委員会（3 月 15 日）

２．情報受伝達体制の強化

・地区内全施設と行政機関を結ぶ情報受伝達ツールとして、FAX、E メールとともに当社団ホームページ内に「会員用災害時掲示板」を設置している。
・このうち「災害時掲示板」については、より使いやすいシステムに改良し、「情報受伝達訓練」（FAX、Ｅメール併用）で試行した上で、本格運用を開始した。（9 月 26 日）
・アンケートの集計結果などを基に複数の伝達手段の確保に向けた検討を実施した。（～3 月）

〈情報受伝達訓練：
災害時掲示板での連絡〉

３．帰宅困難者対策と一斉帰宅抑制の推進

・「帰宅困難者一時滞在施設登録制度」の本格的な運用と施設拡充を進めるとともに、来街者・就業者等一般向けの「帰宅困難者支援ガイド」2018 版（防災マップ）を更新・発行した。（4 月）
・横浜市と連携して、地区内事業所に対する「就業者の一斉帰宅抑制方針」の周知・働きかけを実施した。（7～3 月）

４．『災害時行動ガイド』の充実・更新

・当地区の防災関係者のマニュアルとして策定している『災害時行動ガイド』について、情報受伝達編と帰宅困難者対策編及び自助対策編（避難行動マニュアル等）の充実を図り、更新・発行した。（3 月）
・一般向けの『帰宅困難者支援ガイド』（防災マップ）を日本語版に加えて外国語表記の検討を行い、日本語 2019 版を更新し、新たな英語版と共に本年 4 月発行に向け印刷した。（～3 月）

〈 参考：帰宅困難者受入訓練状況〉

５．防災講演会・勉強会、合同防災訓練の実施

・講演会、防災訓練の内容について検討し（7～2 月）、勉強会（11 月 14 日）及び防災講演会（2 月 6 日、54

名参加）を開催し、複数の施設が連携する帰宅困難者受入訓練など、「第24回みなとみらい２１地区合同防災訓練」（3月4日、雨天のため規模を縮小して実施。164名参加）を実施した。

６．地震対策に関するアンケート調査の実施

・帰宅困難者対策の対応や情報受伝達手段の整備状況等の地区内各施設の地震対策の進捗状況を確認するため、前回2016年10月に引き続きアンケート調査を実施した。（12月）

○ 来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

◇みなとみらい２１街づくり状況の各種調査

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．来街者調査及び進出企業調査

・今年度調査の実施方法について、関係部署と調整（7～9月）し、「来街者調査」及び「進出企業調査」に着手、現地調査等を実施した。（10～11月）

・各調査のとりまとめを実施した。（～3月）

◇みなとみらい２１地区における交通対策等の検討

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．歩行者交通量調査

街区開発の急速な進展や大規模集客施設の複数の立地計画等を踏まえ、横浜市と連携して、歩行者の将来交通量推計調査及び歩行者交通処理計画（誘導計画、整備計画等）の検討を進めた。（～2月）

当該検討の基礎調査として、イベント時の歩行者交通量調査（歩行者動線、混雑状況等）を実施した。（9月）

調査結果を踏まえ、ハード整備やソフト対応について関係者との協議等を、横浜市と連携して実施した。（～2月）

２．貨物線上部利用計画の検討

キング軸基部のＪＲ貨物線の上部利用について、沿線事業者、ＪＲ東日本、横浜市等関係者と協議・調整を行いながら、周辺地区の環境改善及び歩行者ネットワークの機能向上に向けた検討を進め、貨物線上部利用計画案のとりまとめを実施した。（～3月）

◇駐車場案内システム協議会の運営

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．総会の開催

駐車場案内システムの運用を図るため、総会を開催した。

・第24回総会（7月12日）：2017年度事業、決算報告及び2018年度予算案について

２．2019年度会費算定作業の実施

協議会会費算定基準による2018年度駐車台数の確認を実施した。（3月）

○ 街づくりの誘導・調整、情報発信

◇みなとみらい２１街づくり基本協定の運営【中央地区】

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．みなとみらい２１街づくり基本協定運営委員会

・中央地区開発計画及び映像装置を利用する広告物の運用方針等について審議した。

○第１回委員会（6 月 21 日）にて、下記案件について協議・承認した。

・20 街区　MICE 施設整備事業 色彩・外装計画について

・37 街区（仮称）みなとみらい２１中央地区 37 街区開発計画
街づくり行為に係る行政手続きの開始について

・43 街区　神奈川大学みなとみらいキャンパス
街づくり行為に係る行政手続きの開始、仮囲いデザインについて

・47 街区　村田製作所みなとみらいイノベーションセンター
色彩・外装計画、ビルサインについて

・56-2 街区 資生堂グローバルイノベーションセンター
サイン計画（ビルサイン除く）、夜間照明計画について

・61 街区　横浜アンパンマンこどもミュージアム＆モール移転プロジェクト
色彩・外装計画について

・映像装置を利用する広告物の今後の運用方針について

○第２回委員会（9 月 27 日）にて、下記案件について協議・承認した。

・20 街区　ホテル施設整備事業 色彩・外装計画について

・23 街区　よこはまコスモワールド リニューアル工事
街づくり行為に係る行政手続きの開始について

・43 街区　神奈川大学みなとみらいキャンパス 工事計画について

・47 街区（仮称）MM２１地区４７街区開発計画　色彩・外装計画について

・56-1 街区（仮称）京急グループ本社ビル 色彩・外装計画（一部）について

・56-2 街区 資生堂グローバルイノベーションセンター パブリックアートについて

・61 街区　横浜アンパンマンこどもミュージアム＆モール移転プロジェクト
アクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容、
外構・植栽計画、夜間照明計画、サイン計画（一部）について

○第３回委員会（12 月 18 日）にて、下記案件について協議・承認した。

・20 街区　ＭＩＣＥ施設整備事業　夜間照明計画、ビルサインについて

・38 街区　（仮称）首都高速道路㈱神奈川局開発計画
工事計画、仮囲いデザインについて

・38 街区　（仮称）MMアリーナ計画　色彩・外装計画について

・44 街区１画地（仮称）みなとみらい４４街区計画
街づくり行為に係る行政手続きの開始について

・55-1 街区　（仮称）LG Global R&D Center 建設プロジェクト
街づくり行為に係る行政手続きの開始について

・56-1 街区（仮称）京急グループ本社ビル　色彩・外装計画（一部）、

アクティビティフロアのしつらえ・内容について
・61 街区　横浜アンパンマンこどもミュージアム＆モール移転プロジェクト
サイン計画(一部)について

○第 4 回委員会（3 月 14 日）にて、下記案件について協議・承認した。
・20 街区　ＭＩＣＥ施設整備事業　外構・植栽計画、パブリックアートについて
・20 街区　ホテル施設整備事業　外構・植栽計画について
・43 街区　神奈川大学みなとみらいキャンパス　色彩・外装計画について
・47 街区（仮称）MM２１地区４７街区開発計画　サイン計画(ビルサイン)について
・54 街区（仮称）MM２１-５４街区／横浜グランゲート プロジェクト
アクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容、
外構・植栽計画、夜間照明計画、サイン計画(一部除く)について
・55-1 街区（仮称）ＬＧ Ｇｌｏｂａｌ R&D Ｃｅｎｔｅｒ 建設プロジェクト
工事計画について
・56-1 街区（仮称）京急グループ本社ビル コモンスペースのしつらえ・内容、外構・植栽計画、夜間照明計画(外構部)、サイン計画(ビルサイン)について
・58 街区　横濱ゲートタワープロジェクト　工事計画、仮囲いデザインについて
・61 街区　横浜アンパンマンこどもミュージアム＆モール移転プロジェクト
パブリックアートについて

２．みなとみらい２１街づくり基本協定運営委員会 専門部会
・街づくり基本協定及び関連細則に関する課題について討議・検討を実施した。
・9 回開催（4 月 26 日、5 月 24 日、6 月 28 日、7 月 26 日、8 月 23 日、10 月 25 日、11 月 22 日、1 月 24 日、2 月 28 日）

■2018 年度件数実績

(1)承認通知書発行件数
・街づくり行為　30 件

(2)暫定土地利用
・申請件数　0 件
・届出件数　30 件

(3)屋外広告物
(ﾃﾅﾝﾄｻｲﾝ等)
・申請件数　1 件
・届出件数　55 件

(4)屋外広告物（バス停、パシフィコ横浜、その他）
・バス停広告　90 件
・動く歩道横断幕　28 件
・動く歩道フラッグ　63 件
・クイーンズ橋フラッグ　76 件
・その他　114 件
(街灯フラッグ、MM駅連絡地下通路広告、案内広告 等)

◇「みなとみらい２１インフォメーション」等の改訂

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．「みなとみらい２１インフォメーション」の制作
・今年度の構成内容について関係者と調整し、制作に着手した。(10 月)
・制作を完了し、印刷・発行した。（３月）

◇エリアマネジメント活動助成事業

【 事業推進部 】

【実施報告】

1　2018 年度助成について

助成決定した７団体のうち、６団体から活動実績報告・収支決算書等を提出してもらい、助成金額を確定・交付した（1,982,146 円）。１団体辞退。

2　2017 年度助成（前年度助成事業）について

助成団体（６団体）による「助成活動実績報告会」を実施し、助成団体相互の交流を促進した（６月）。

＜参考：2018 年度　助成団体と提案概要＞

◆　みらいコース

団体名【事業名】	提案概要
みなとみらいでポニーと遊ぼう！実行委員会 【みなとみらいでポニーと遊ぼう！】	幼児と小学生低学年を対象に、ポニーの乗馬体験、紙芝居や餌やりなどのふれあいを通じた動物介在幼児教育を住民主体で実施
NPO 法人ハマのトウダイ 【ハマのパークキャラバン 2018　みなとみらい】	公園において、ペットとともに防災宿泊体験会を実施。また、公園でのアウトドア会議室体験を実施。
つながるハマベビプロジェクト実行委員会 【つながるハマベビ　駅前レンタルベビーカー事業】	みなとみらい駅近隣においてベビーカーの無料貸出を実施し、公共交通機関で移動する子供連れのエリア内の移動をサポート。
NPO 法人ミニシティ・プラス 【MM21 ジュニア編集局】	子ども・青少年目線からみた MM21 の街の魅力を発信する地域メディアを創設。子どもたちの取材活動や情報発信を通し、地区内企業および行政等との交流を実施。
NPO 法人横浜コミュニティデザイン・ラボ 【MM 地区のソーシャル活動を創る ローカルグッドカフェ】→ 辞退	地域の社会活動の活性化を目的に、在住者、在勤者、学生の対話の場を設け、地区内の社会貢献活動や地域の課題、CSR 活動、SDGｓについてオンラインで発信。
まちが人をそだてるプロジェクト実行委員会 【まちが人をそだてるプロジェクト】	ボランティアや社会地域活動をしたい青少年を対象に気軽に参加できるボランティアの機会を提供。街案内や清掃活動、英語マップ・冊子の作成等を通して青少年の地域参加サポートを実施。
NPO 法人　全日本育児普及協会 【紙芝居　×　防災】	防災紙芝居を作成し、地区内の保育園や公共空間、商業施設等において親子を対象に読み聞かせや防災講座を実施。

◇街づくり調整委員会（部会）の開催

【 企画調整部 】

【実施報告】

第１回委員会（11 月 19 日）を開催し、下記について報告等を実施した。

・2018 年度上半期の事業執行状況及び今後の予定について

第２回委員会（３月 20 日）を開催し、下記について報告等を実施した。

・2019 年度事業計画（案）について

◇全国エリアマネジメントネットワークへの参画

【 企画調整部・事業推進部・総務部 】

【実施報告】

１．全国エリアマネジメントネットワークへの参画

全国エリアマネジメントネットワーク（2016 年度発足）の総会及びエリアマネジメントシンポジウムに参画した。

・「全国エリアマネジメントネットワークシンポジウム 2018in 東京」（6 月 5 日）
・「総会」及び「エリアマネジメントシンポジウム@Shibuya」（9 月 27 日）
・「全国エリアマネジメントネットワークシンポジウム 2018inOSAKA」（11 月 6 日）
・「官民ボーダーレスまちづくりミーティング」（1 月 28 日）

○ みなとみらい２１地区の土地の公募業務

◇土地公募業務

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．土地公募業務

・横浜市市有地のうち、62、53 街区の開発事業者公募業務を横浜市から受託し、公募業務を実施している。（62 街区：4 月～登録締切 9 月 14 日、提案締切 9 月 28 日、53 街区：7 月～登録締切 11 月 30 日、提案締切 12 月 14 日）
・62 街区に応募のあった２件について、提案内容についての調査分析を行った。（～12 月）
・53 街区に応募のあった２件について、提案内容についての調査分析を行った。（～3 月）

環境対策事業

みなとみらい２１地区における業務・商業活動等を通じて、地球温暖化対策、循環型社会形成、生物多様性といったさまざまな環境問題に関し、ハード面からソフト面まで幅広く多様な活動を展開し、スマートなまちづくりの実現に向けた取組を推進します。

○ スマートなまちづくりの実現に向けた取組

◇みなとみらい 2050 プロジェクトの推進

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．みなとみらい 2050 プロジェクトの推進

・パーソナルモビリティの走行実証実験について、横浜市等からなる協議組織に参画し、一般参加者の公募による屋外の公道走行実証実験を行い、更にその結果等を基に関係者と連携して「一般向け有料ガイドツアー」実証実験を実施した。(8～3 月)

〈 公道走行実証実験状況〉

・みなとみらい 2050 プロジェクト・アクションプランに掲げられた情報発信拠点（フューチャーセンター）について、昨年度に引き続き、当地区における情報発信拠点（フューチャーセンター）やオープンイノベーションのあり方・機能等について、横浜市や関係者と連携して検討・調整を行い、ワークショップを開催した。(6～3 月)

・「みなとみらいスマートフェスティバル」実行委員会に参画し、本イベントの円滑な運営に向け、地区内関係者への事前説明、観覧者誘導計画等の調整を行った。(6 月～9 月 8 日)

２．地球環境未来都市研究会への協力

・横浜国立大学を中心に、みなとみらい２１地区を主要フィールドとして最先端の研究を行う産学官連携のコンソーシアム「地球環境未来都市研究会」に参画し、クイーンズスクエア横浜やパシフィコ横浜などの３次元のＧＩＳモデルの構築や、温熱環境・人流シミュレーションなどの検討を関係者と連携して実施した。(～3 月)

◇水環境向上及び生物多様性に関する取組

【 企画調整部 】

【実施報告】

これまでの 3 カ年半に及ぶ実証実験でえられた成果と課題を踏まえ、地区内関係者、学識経験者・専門家、横浜市等と協議・調整して、汽車道護岸の『実験場』を拡張して、「自立するアマモ場造成」、「ノリの養殖実験」及び「効果的な情報発信」を基本方針として、「水環境向上・生物多様性」に関する取組のさらなる展開を図ることとした。

１．アマモ場造成等

・年間を通してアマモが成育する「自立するアマモ場造成」に必要なデータ取得のた

めの基礎調査を行った上で、『実験場』の覆砂やアマモの苗の植付・播種等の方法について検討を行いアマモ場を造成、さらに、身近な海藻であり、視認性もある「ノリの養殖実験」を実施した。（～3 月）

・『実験場』における水質浄化や生物多様性の更なる向上を図るため、小型カキ殻礁を設置した。（12 月）

・「ノリの養殖実験」の状況確認及びインターネット配信に向けて、『実験場』にｗｅｂカメラを試験設置した。（2～3 月）

２．効果的な情報発信

・本取組をインターネット配信するための水中動画撮影を実施した。（9 月～3 月）

・アマモの苗の植付・播種体験及びアマモ等の役割を紹介するイベントを、地区関係者や学校関係者等の参加協力のもと実施し、その状況とアマモの生育状況を当社団ホームページに掲載した。（11～1 月）

・新たな取組についての報告会を、地区内関係者や専門家等と連携して実施した。（2 月）

・本取組を広く紹介するため、汽車道既存看板の板面表示の更新を行い、当社団ホームページのＱＲコードを記載した。（3 月）

◇『緑・花』推進に関する取組

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．「ガーデンネックレス横浜」との連携

・「みなとみらい GARDEN LIFE2018」（花の品評会や花のある暮らしの展示等）を横浜市と連携し、実施した。イベント終了後、品評会に出品した花の植え付けを地区内で行った。

・また、イベント期間中に緑や花への関心をもってもらうため、地区内就業者を対象とした寄せ植えのワークショップも開催した。（5 月）

・3/23 から開始されるイベントにあわせて、桜木町駅前広場での花植えを実施した。（3 月）

〈花のある暮らし展〉

２．「緑・花」の推進

・地区内の「緑・花」の一層の充実に向け、地区内関係者や横浜市等と連携して、目標と来年度以降の推進方策についてとりまとめを行った。（～２月）

◇地域緑のまちづくり事業

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．「緑のまちづくり協議会」

横浜市から助成を受け、公共施設緑化及び民有地緑化を進める「地域緑のまちづくり事業」について、地区ごとに協議会総会を開催し、昨年度の事業内容を報告するとともに、今年度以降に実施する事業計画について承認された。

このうち、新港地区は、2017 年度での事業終了について報告を行った。

・みなとみらい２１横浜駅東口・中央地区緑のまちづくり協議会　第６回総会（4 月 25 日）
・みなとみらい２１新港地区緑のまちづくり協議会　第８回総会（6 月 18 日）※事業終了

○ 環境意識の啓発に向けた取組

◇身近なエコ活動の実施、検討

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．ＣＯ２削減・ライトダウンキャンペーン

・国や横浜市が進める環境啓発キャンペーン（6 月 21 日から 7 月 7 日まで）について、地区内関係者に周知を図るとともに、一斉消灯（ライトダウン）への参加呼びかけを実施した。（6～7 月）

２．アースアワー2019

・「アースアワー2019」との連携方策について、主催者のＷＷＦジャパン及び横浜市関係部署等と協議に基づき、地区内関係者に周知・参加への呼びかけを行うとともに検討を進め、「アースアワー2019」に参加するとともに、「アースアワー」に連携して、環境啓発イベント『竹あかり』フォトスポットと環境パネル展を実施した。（10～3 月）

＜『竹あかり』フォトスポット状況＞

◇環境対策委員会（部会）の開催

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．環境対策委員会

○第 1 回委員会（11 月 19 日）を開催し、下記について報告等を実施した。
・2018 年度上半期の事業執行状況及び今後の予定について

○第 2 回委員会（3 月 20 日）を開催し、下記について報告等を実施した。
・2019 年度事業計画（案）について

◇地区内の清掃活動の実施

【 事業推進部 】

【実施報告】

桜木町駅前広場、新港地区、グランモール公園において、毎月、定期的に清掃を実施した。
＜活動主体は下表のとおり＞

活動主体	清掃箇所	実施日	参加者	制度
桜木町駅前広場活性化委員会	桜木町駅前広場	第１水曜日	約 20 名	ハマロード・サポーター
新港地区賑わいづくり委員会	運河パーク、カップヌードルミュージアムパーク、赤レンガパーク	第２水曜日	約 30 名	みなとみどりサポーター
グランモール公園愛護会	グランモール公園	第３火曜日	約 130 名	公園愛護会

文化・プロモーション事業

みなとみらい２１地区の状況や地区内で行われている活動等について、地区内外に情報発信すると共に、地区内の賑わい創出を促進し、街のイメージや魅力の向上を図ります。

○ まちの魅力発信

◇インバウンド（訪日外国人）対応

【 事業推進部 】

【実施報告】

2016年度に策定した「アクションプラン」に基づき、訪日外国人アンケート調査及びインバウンド対応セミナー等を実施した。

〈訪日外国人アンケートの様子〉

・訪日外国人アンケート調査（6月、8月、10月、12月、1月）
　3月11日　文化プロモーション委員会にて報告
・インバウンド対策セミナー（施設別従業員向け）
　11月12日　アンパンマンこどもミュージアム＆モール
　3月　7日　ランドマークプラザ
・みなとみらい２１Tourist Information Centerの新設検討
　1月17日　サウンディング調査における募集要項を公表
　1月30日　企画提案説明会の開催
　2月28日　対話会の開催
・MINATO MIRAI 21 GOURMET MAPの再刊行に着手（2月）
・訪日外国人向けノベルティの製作（2月）
・今年度アクションプラン実施結果を踏まえ、2019年度事業計画を策定（3月）

◇ウェブによる情報発信

【 事業推進部・企画調整部 】

【実施報告】

・公式ウェブサイトの維持管理、街づくりウェブサイトの修正 及び コンテンツの追加を実施した。（常時）
・みなとみらいエリアアプリの管理（ランニング）を実施した。（常時）
・インバウンドサイトのコンテンツを拡充した。（3月）

◇広報誌による情報発信

【 事業推進部 】

【実施報告】

・フリーマガジンmirea（ミレア）の発行

「mirea」の企画編集に参画し、5月号～3月号を発行した（5月、7月、9月、11月、1月3月）。昨年度実施し、好評だったSNSにおける「インフルエンサー」を引き続き誌面

に起用するなど、取材記事の多様化、特集記事の活用、またフォント調整など〝読みやすさ”を重視した内容改善に取り組んだ。特に、1月号では2019年、2020年のMM21地区の開発状況を紹介するなど、広報誌としての活用を図った。また、「mirea別冊 ヨコハマ夜景2018」（11月30日発行）の企画編集に参画した。

◇ＰＲ活動の実施

【 事業推進部 】

【実施報告】

１．ニュースリリースの発行

実績のあるリリース配信会社を通じ、みなとみらい21 地区のイベント情報のリリースを配信した。（7月、10月、11月、12月、3月）

２．新港エリア共同プロモーション

賑わいづくり委員会による認知度および回遊性と集客率の向上のため、共同広報を実施。春プロモーション地域イベントのポスター制作を実施し、近隣鉄道沿線に掲出・配信した。

３．交通系メディアを活用したＰＲ活動

都心を中心とする交通系メディアの活用として、東急東横線、みなとみらい線の駅構内のポスターおよびモニターに、観光ＰＲポスターを掲出・配信した。

４．ＪＲ東日本「小さな旅」とタイアップ

夏号（横浜、鎌倉、神奈川）の「夏の神奈川の楽しいイベント」パンフレットに参画した。また、提供した写真が使用されたポスターが、ＪＲ大宮駅に掲示された。

〈大宮駅に掲示されたポスター〉

◇地区プロモーションの調整

【 事業推進部 】

【実施報告】

ＳＰ推進委員会において、より効果的なＰＲ活動を実施した。

・「mirea」の企画編集に参画し、隔月で６つの号を発行した。（5月、7月、9月、11月、2019年1月、3月号）また、「mirea別冊 ヨコハマ夜景2018」（11月30日発行）の企画編集に参画した。また、取材記事の多様化や、特集記事の活用など内容改善に取り組んだ。

・会費減少による活動資金不足対策として、プロモーション事業による外部企業からの資金確保を実施するとともに、委員会活動の仕組みの見直しに関する検討を進め、来年度からは、事務局業務の外部委託を取り止め、当社団が実施することとした。

・クリスマスＰＲ誘致やアニメコンテンツとのタイアップ企画の検討等を実施した。

・みなとみらいプレゼンテーション 2019 を開催し、クライアント向けにエリアプロモーションを実施した。（２月）・

○ 賑わいの創出

◇公共空間の利活用

【 事業推進部 】

【実施報告】

１．みなとみらい２１公共空間活用委員会

総会、委員会を開催し、オープンカフェなど公共空間の利活用について審査した。
（4 月、6 月、8 月、10 月、3 月開催）

２．みなとみらい STREET　MUSIC

ストリートミュージシャンに演奏の場を提供し、公共空間の利活用とにぎわい創出を図る事業「みなとみらい STREET MUSIC」を開催した。

・出演者による自主運営ライブ　（6 月 15 日、9 月 21 日、11 月 16 日、1 月 18 日、1 月 28 日、2 月 15 日）

・出演者公募によるライブ（7 月 18 日、8 月 29 日、12 月 19 日、3 月 27 日）

〈みなとみらい縁市の様子〉

３．みなとみらい縁市（えにしいち）

・５月からの第２土曜に、地元農家による野菜販売とキッチンカーによるマルシェ「野菜&キッチンカー」を開催した。
（5 月 12 日、6 月 9 日、7 月 14 日、8 月 11 日、9 月 8 日、10 月 13 日、11 月 10 日、3 月 9 日）

・地元野菜や食品、手作りのアクセサリー・雑貨などの販売とワークショップの実施、キッチンカーの出店、音楽ライブからなるマルシェ「みなとみらい縁市」を開催した。（12 月 1 日、2 日）

◇地区イベントの開催

【 事業推進部 】

【実施報告】

１．地区内の企業や団体と連携して、次の地区イベントを実施及び参加した。（連携事業）

・「みなとみらい 21 さくらフェスタ 2018」（３月 31 日～４月８日）
・「ヨコハマ大道芸 2018in みなとみらい 21」（４月 14 日～15 日）
・「みなとみらいフェスティバル GOOD DAY PARK！」（５月 26 日～27 日）
・「グランモール公園夏祭り」（７月 27 日）
・「ピカチュウ大量発生チュウ！」（８月 10 日～16 日）
・「第 11 回みなとみらい大盆踊り」（８月 17 日～18 日）
・「みなとみらいスマートフェスティバル 2018」（９月８日）
・「映画公開記念 プリキュア15周年記念パレード
～史上初！55人とか、ぶっちゃけ、ありえな～～い!!～」
（10月21日）
・「桜木町駅前広場大道芸」（10 月 27 日）
・「みなとみらいベイエリア 第 11 回宝島 HALLOWEEN」（10 月 27 日）
・ヨコハマミライト～みらいを照らす、光のまち～（11 月 14 日～2 月 17 日）
・TOWERS Milight（オフィス全館点灯イベント）（12 月 21 日）
・「桜木町駅前広場大道芸」（３月 23 日）
・「みなとみらい 21 さくらフェスタ」（3 月 23 日～31 日）

〈「プリキュア」イベント〉

２．公益信託みなとみらい 21 まちづくりトラストの活用に関する検討

2018 年度に設置された、「公益信託みなとみらい２１まちづくりトラスト」について、地区内での効率的な活用につなげるため、当地区の課題や他の公益信託制度の事例調査などを実施した。　（イベント系の取組を想定した事例調査等のため、本事業において実施）

○ その他

◇文化・プロモーション委員会等の運営

【 事業推進部 】

【実施報告】

文化・プロモーション委員会を開催した。
・地区のプロモーションについて意見交換を行うとともに、会員交流の場として懇親会を実施（参加団体：のべ 59 団体（10 月、3 月））。

◇ガイドマップの制作

【 事業推進部 】

【実施報告】

１．「みなとみらい２１ガイドマップ」の増刷発行

「みなとみらいガイドマップ」（第 61 版）の増刷による発行を行った。また 2019 年７月の改訂版作成のため準備を進めた。

◇歩行者案内地図サインの更新

【 総務部 】

【実施報告】

当社団及び地区内施設等で管理している案内地図サイン（11 基）の盤面を更新した。
（３月）

会員交流事業

会員相互の交流を促進し、新たなネットワークやエリアマネジメント活動を活性化するための取組を実施します。また、会員や就業者等の声を聴取し、エリアマネジメント活動に役立てていきます。

◇地区内情報等の提供

【 総務部 】

【実施報告】

大規模イベントによる交通規制や地区内イベント情報、当法人の事業関連情報等を会員へ提供した。（毎月）

・上半期；17 件（かもめ SCHOOL 秋学期、地区内工事情報など）

・下半期；26 件（日本丸大規模改修、横浜マラソン、かもめ SCHOOL 春学期、地区内工事情報など）

◇会員相互交流の機会の創出

【 総務部 】

【実施報告】

１．普通救命講習会

・普通救命講習会（11 月 22 日、30 日の全２回）を実施した。

２．みなとみらい２１賀詞交換会

・会員間の交流やネットワークをつくる機会を提供する「みなとみらい２１賀詞交換会」（1 月 16 日／236 人参加）を実施した。※会場：横浜ロイヤルパークホテル

◇みなとみらいかもめ SCHOOL

【 事業推進部 】

【実施報告】

みなとみらいかもめ SCHOOL においては、春学期、秋学期において、新しい講座を開講するなどの工夫を行い、リピーターの受講や新たに取り上げた地区内及び周辺施設との交流につながった。

〈横浜船渠の２つのドックの物語〉

１　春学期（４月～６月）【受講者：225 人】

全 17 講座を実施し学びと交流の場を提供した。

２　秋学期（９月～11 月）【受講数：204 人】

全 15 講座を企画し、受講者を募集した。

３　2019 年度春学期講座の検討（11 月～１月）

7 講座を新講座とし、全 15 講座を企画し、2 月 22 日に募集を開始した。

４　オフ会の実施（２月）

受講者同士、受講者と講師との交流を図る「オフ会」を開催した。

＜参考：2018 年「春学期」講座内容＞　　【　】内受講者数

かもめスクール　講　座　名	
01 横浜と銀行の歴史を知ろう！【４名】	10 なぜあの人はわかってくれないのか？ しつもん読書会で考える、私らしい気持ちの伝え方【３名】
02「都市デザイン」って何！？～横濱夜景編～【11 名】	11 ～プロの写真家と考える～　観るということ【７名】
03 かながわ商店街ツアー～藤棚商店街～【９名】	12 曹洞宗大本山總持寺で参禅体験！【12 名】
04 小説家・山崎洋子と巡るディープな横浜 ～江戸川乱歩賞受賞作の舞台を巡る～【17 名】	13 食べて学べる、時短常備菜レッスン【15 名】
05 横浜の海を知る、海に親しむ【20 名】	14 日本ナポリタン学会によるナポリタン講座 ～学会認定のレシピを味わってみよう～【20 名】
06 JICA 横浜で世界とつながろう【５名】	15 天空の茶室でお茶体験【14 名】
07 セルフブランディング ～理想的な自分になるため～（入門編）【10 名】	16 「横浜にぎわい座」の落語会に行こう！ 落語の楽しみ方、お教えします！【17 名】
08 三菱みなとみらい技術館で学ぶ！ 世界に誇る日本のものづくり【14名】	17 JAZZ Bar ＠ 横浜みなとみらいホール【29 名】
09 実際にハチミツを絞りながら学ぶ！ 「株式会社ミツバチ」【18 名】	【合計 225 名】

＜参考：2018 年「秋学期」講座内容＞

かもめスクール　講　座　名	
01 こうして「みなとみらい線」は誕生した【24 名】	09 「脚軽」「腕軽」ヨガで全身スッキリ!! ～みなとみらいで感じる贅沢な夜～【９名】
02 横浜船渠の 2 つのドックの物語【13 名】	10 横浜ビール学～日本のビールは横浜から始まった～【14 名】
03 鉄道からみた横浜の都市形成【15 名】	11 ～日本で一番小さい都市型ワイナリー～ 「横濱ワイナリー」で横浜ワインを楽しむ【15 名】
04 横濱総鎮守　伊勢山皇大神宮の由緒と神社体験【23 名】	12 天空の茶室でお茶体験【14 名】
05 ぶらり・ほろ酔い野毛 ～野毛入門講座～【15 名】	13 横浜能楽堂で日本の伝統芸能を知る「横浜狂言堂」【６名】
06 折れないココロの作り方 ～メンタルヘルスマネジメント入門編～【10 名】	14 美術品を修復する！絵画修復基礎講座【７名】
07 そごう横浜店のビューティフロアでステーション機能を体験！～自分に合った「ビューティ」を見つけよう～【６名】	15 JAZZ Bar ＠横浜みなとみらいホール【33 名】
08 夜の美術館でモノタイプ版画に挑戦！ ※最少催行人数に達しなかったため中止	【合計 204 名】

横浜都心電波対策事業

みなとみらい２１地区および関連開発地区における建物建設に伴う周辺市街地のテレビ電波障害対策を実施するとともに、「横浜都心電波対策協議会」の事務局の運営を行います。

◇電波障害対策事業の実施

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．新規開発に伴うテレビ電波障害シミュレーション

新規開発の建物におけるテレビ電波障害シミュレーションを実施し、調査・対策に必要な影響範囲図を作成した。

・43①街区（5～6 月）　・55-1 街区（9～10 月）　・58 街区（10～11 月）

２．テレビ電波障害受信状況調査

新規開発に伴うテレビ電波障害影響範囲図により、開発状況に応じたテレビ電波受信状況を把握するため、現地における事前、中間調査を実施した。

・47 街区事前、56-2 街区中間調査（6～9 月）

・54 街区中間、43 街区事前調査（12～3 月）

３．テレビ電波障害対策工事

テレビ電波障害が発生する地区の対策を実施した。

・54 街区テレビ電波障害対策工事その２（5～2 月）

◇横浜都心電波対策協議会負担金

【 企画調整部 】

【実施報告】

１．総会・代表者会の開催

協議会の運営を図るため、総会を開催した。

〇第 22 回総会及び第 34 回代表者会（7 月 3 日）

・2018 年度代表者会委員の選任について

・2017 年度事業報告及び決算・会計監査報告について

・2018 年度運営委員会委員の委嘱について

２．運営委員会の開催

新たな街区開発による開発者負担金の確定や協議会の運営を図るため、運営委員会を開催した。

〇第 1 回運営委員会（6 月 14 日）

・2018 年度運営委員会役員の選出について

・第 22 回総会及び第 34 回代表者会への付議事項について

・電波障害対策範囲策定調書（案）・開発者負担金算定調書について
43 街区「神奈川大学みなとみらいキャンパスの件」

〇第 2 回運営委員会（11 月 29 日）

・負担ルール設定値見直しについて

○第3回運営委員会（2月1日）

・電波障害対策範囲策定調書（案）について
38街区②「(仮称) 首都高速道路(株)神奈川局開発計画の件」

・電波障害対策範囲策定調書（案）について
58街区「横濱ゲートタワーの件」

○第4回運営委員会（3月18日）

・電波障害対策範囲策定調書（案）について
55-1街区「(仮称)LG Global R&D Center建設プロジェクトの件」

・2019年度　事業計画及び予算について

３．開発者負担金ルールの係数見直し（3年ごとに実施）

・開発者負担金算定に必要な係数の算出を実施した。(4～12月)

広告・イベントスペース等の運用事業

◇公有財産及び広告・イベントスペースの運用

【 総務部 】

【実施報告】

・クイーンモール１階及びステーションコア地下３階の一部について、店舗スペースとしての貸付を実施した。（通年）

・クイーンモール２階「みなとみらいギャラリー」の運営、モール内イベントスペース「クイーンズサークル」、フラッグ、大懸垂幕等の商業サイン等掲出スペースの貸付を実施しつつ、クイーンズサークルの更なる利用促進のための仕組みづくり（イベント内容によっては年間の使用可能日数から除外することで、年間使用可能日数を増やす仕組み）についても検討し、実施した。（～10 月）

・広告・イベントスペース等の効果的な運用を図り、更なる収益の確保に向けた取組について検討した（～３月）